

(1面のつづき)

ことがあるとして、「県下
で21自治体のうち14自治体
で一般財源からの繰り入れ
を行っており、その平均額

は1世帯当たり年間1万円
程度となっている」と指摘、
国保税の引き下げに対して
町としても積極的に取り組
むよう求めました。

エアコンは、子ども達の健康に

直結する問題

永田議員は、「県下では
昨年7月の一月間に400
人が熱中症で救急搬送さ
れ、子ども達が52人も含ま
れている。教室の環境は健
康を損なう状態にある」と
指摘し、エアコン設置状況

は全国38番目の長崎県平均
の4割以下という佐々町の
設置率はあまりに低い。人
命軽視と言われても仕方な
い状態ではないかと質しま
した。

また、毎年2億円を超え
る剰余金を出して、60億円
を超える基金残高がある中
で子ども達のために500
0万円程度が使えないの
か、毎回の議会で先送りを
繰り返しているのではないか
と迫りました。

しかし、町長はもう少し
の資産割廃止に伴う減額を
行った事。

③学校トイレの改修につい
て、今年佐々小学校の一部
改善、来年度国の補助を受
けて洋式便器に改修する計
画が示されたこと。

一方で、問題点課題も
ある。

①原発再稼働が目前に迫っ
ているが、町長は原発の危
険性は認識しているとしな
がら、再稼働については、
国や県の方針だからと容認
の姿勢を崩しません。本当



小中学校の施設整備構想を
検討していく中で計画的に
実施していくと答えるにと
どまりました。

原発は安上がりは「神話」

3月議会で永田議員は、
玄海原発再稼働問題につい
て前回に引き続き質問しま
した。質問では、①世論調
査結果から見ると83%が原
発事故への懸念を示し、75
%が「原発全廃」を求めて
いる。②フクシマ原発の廃
炉費用は21兆円に及ぶ、当
初発表額の2倍以上、原発
が経済的という主張は神話

に過ぎないことがハッキリ

した。③避難計画もない中
で玄海原発再稼働には反対
とすべきだ。④原子力に変
わる自然再生エネルギーの
普及に向けて町としても積
極的に行うべきではない
か。など、町長の姿勢を質
しました。



町長は「(原発の)危険性
は十分承知している。」とし
ながら、「私が反対だとい
うことでお話しすることに
は、なかなかいまの状況で
はできない。」と述べ、従来
からの態度を変えようとは
しませんでした。

一般会計予算に共産党は賛成

町政には是々非々の立場で対応

日本共産党は佐々町30年度予算案に賛成しまし
た。以下は永田議員が行った賛成討論の要約です。

○一般会計当初予算に賛成
している。

する。わが党が一般会計当
初予算に賛成するのは、久
しぶりだが、町政にたいし
ては基本的には是々非々の立
場で対応していくべきと考

今回は以下の改善点を
評価して賛成とする。

①子ども医療費無償化を拡
大し、高校生までの医療費

無償化を予算化したこと
は、県下で松浦市に続く2
番目であり、評価できる。
さらに、現物給付を実施す
るとしたことは、長年の町
民の要求であり、積極的に
評価する。

②町民の要求に応え、介護
保険料の引き下げ・国保税

に住民の安全を考えるなら
ば、現時点での再稼働には
反対すべきである。

②子ども達・保護者の強い
要望がある、小中学校のエ
アコン設置が今回も見送ら
れた。

必要性については町長も
否定していないが、子ども
達にとっては待ったなしの
要望だ。全国で最も遅れた
長崎県の設置率などにこだ
わらず、実施しようとする
ば、一教室220万円とい
う現在の試算よりも、町内
業者の協力によって大幅に

一方で、問題点課題も
ある。

①原発再稼働が目前に迫っ
ているが、町長は原発の危
険性は認識しているとしな
がら、再稼働については、
国や県の方針だからと容認
の姿勢を崩しません。本当

引き下げる事も可能だ。
喫緊の課題であり、早急
に実現すべきと考える。

③佐々町には多額の基金が
ある。一方で、多額の投資
を必要とする老朽化してい
る学校施設や行政施設があ
り、計画的な改修計画が急
がれる。

早めに計画して、議会や
町民の声をしっかり聞き、
実施に向かうという民主的
なプロセスが求められま
す。引き続き改善を求めて
いく。